

令和3年2月1日

感染防止対策 [海洋活動編]

静岡県立焼津青少年の家

【所が実施すること】

1. 乗船人数について

(1) これまでどおり二人掛けの席を設ける場合 (13人×8艇=104人程度)

- ・二人掛けの席を設ける場合は、向かい合っでの会話を行わないよう指導してから活動を行います。

(2) すべての席を一人掛けにする場合 (8人×8艇=64人)

- ・団体の要望があれば、体格に関わらず一人掛けとし、1艇につき乗船定員を8人とすることも可能です。

※ただし、同時に海洋活動を行う他団体がある場合には、活動時間の関係からすべての席での一人掛けが不可能な場合がありますのでご相談ください。

2. 出航の回数とコースについて

(1) 出航の回数が1回の場合

- ・基本は艇庫乗換でのコースを推奨します。
- ・往復コースの活動も可能ですが、より距離の長いアクアスコースは年齢や乗船人数、団体の事前指導など本所と相談となります。
- ・小川乗換コース(徒歩移動による小川港での乗換)は、感染症リスク(道具の共用)の観点より、不可とします。

(2) 出航の回数が増える場合

- ・すべての席を一人掛けにする場合(8人×8艇=64人)や他団体と同日時に海洋活動を行う場合など、団体の人数によりコースを短くして活動することによって、出航回数を増やして対応していきます。

3. 声出しリーダーとかけ声について

- ・かけ声をかける場合には、乗船中もマスクなどの着用を推奨します。ただし、酸欠や熱中症を防ぐため、運動強度を落とすとともに、適宜呼吸を整えて活動します。
- ・かけ声をかけない場合には、漕ぐタイミングを合わせる事が難しいため、団体での事前指導を十分行うようにしてください。
- ・声出しリーダーは、通常のかげ声(1・2)でも可能ですが、笛などを吹

- く（ピッ・ピッ）ことで、声出しの代わりとすることも可能です。
- ・声の大きさについては、団体の意向を担当所員に伝えてください。

4. 海洋活動のレクチャーについて

- ・感染リスクを鑑みて換気の良い艇庫のみで行います。レクチャーは安全に活動するための大事な内容ですので、要点を絞ってできるだけ短い時間で行うよう工夫します。

5. パドル、ライフジャケット及び座席番号札について

- ・使用したパドルとライフジャケットは定期的に水洗いをします。また座席番号札は、活動後に消毒を行います。

【利用団体をお願いすること】

1. マスクの着用について

- ・基本的にマスクの着用をお願いします。
- ・マスクやマウスシールドは感染リスクの観点から団体で用意していただきます。

※ただし、酸欠や熱中症を防ぐため、運動強度をおとすとともに、適宜呼吸を整えて活動します。

2. 活動前後は石けんで手洗いをしてください。

3. 笛を活用する場合は感染リスクの観点から団体で用意していただきます。